

2023 年 12 月 12 日 (火) 15:00~16:00

藤井節郎記念医科学センター1 階ホール

## 死細胞を体内から除去する メカニズムと疾病治療への応用

バージニア大学医学部 腎臓内科 薬学部 ファカルティー  
徳島大学 先端酵素学研究所 招聘教授  
東海国立大学機構 岐阜大学 高等研究院 客員教授

# 森岡 翔 博士

生体内では絶えず死細胞が生じているが、これらを効率的に除去することが病気や身体に与える影響はわかっていない。われわれは、アポトーシス細胞を特異的かつ効率的に除去する新規キメラ受容体 (BELMO, TELMO) の構築に成功した。これらキメラ受容体発現マウスとアデノ随伴ウイルスを用いて、死細胞貪食の促進が3つの炎症性疾患モデルに対して飛躍的な治療効果を示すことを見出した。また、死んだ細胞の蓄積は実に多くの疾病で観察される。がん微小環境形成や神経変性疾患などで、エフェロサイトーシスと、その促進や 疾病応用が研究されることも期待される。エフェロサイトーシスの疾病への関与や、さまざまな生命現象への重要性をさらに理解するために、エフェロサイトーシスを効率的に抑制するシステムや、数あるPS受容体のレポーターシステムの開発についても紹介したい。

### 【最近の論文発表】

1. \*Morioka S et al., *Cell*, 2022, 185:4887-4903.e17. PMID: 36563662 \*Corresponding authors
2. Perry JSA †, Morioka S†, et al., †Equal contribution. *Nature Cell Biology* 2019, 21:1532-1543. PMID: 31792382
3. Morioka S, et al., *Nature* 2018, 563:714-718. PMID:30464343

教職員、大学院生、学部学生など皆さまのご来聴を歓迎いたします

お問合せ先： 先端酵素学研究所セミナー運営委員会 第 55 回担当

リエゾンオフィス・沢津橋俊 [shun-sawa2\[at\]tokushima-u.ac.jp](mailto:shun-sawa2[at]tokushima-u.ac.jp) 内線 2555

主催：徳島大学先端酵素学研究所

共催：文部科学省共同利用・共同研究拠点事業

